

2026年4月24日

各位

会社名 大末建設株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 村尾 和則  
 (コード番号 1814 東証プライム)  
 問合せ先 経営企画部長 阿部 夢太  
 (電話番号 06-6121-7127)

## 通期業績予想、期末配当予想（増配）の修正 及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2025年10月24日に公表した2026年3月期の通期業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正いたしました。また、2026年3月期第4四半期連結会計期間において、特別損失を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 2026年3月期通期 業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

##### (1) 連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	101,000	5,120	5,130	3,620	346円34銭
今回修正予想(B)	105,500	6,570	6,600	3,800	365円59銭
増減額(B-A)	4,500	1,450	1,470	180	
増減率(%)	4.5	28.3	28.7	5.0	
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	89,027	3,695	3,710	2,060	197円48銭

##### (2) 個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	99,100	5,340	5,350	3,770	360円70銭
今回修正予想(B)	103,400	6,600	6,620	1,880	180円87銭
増減額(B-A)	4,300	1,260	1,270	△1,890	
増減率(%)	4.3	23.6	23.7	△50.1	
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	86,600	3,911	3,922	3,596	344円71銭

### (3) 修正の理由

#### (連結業績予想)

売上高につきましては、当期の受注が好調であったことに加え、手持ち工事の進捗が順調に推移したことにより、前回予想を上回る見込みです。利益面につきましては、売上高の増加に加え、粗利益率の向上、並びに販売費及び一般管理費の削減により、営業利益及び経常利益は前回予想を上回る見込みです。親会社株主に帰属する当期純利益は、株式会社神島組（以下、「神島組」といいます。）に係る技術関連資産等の減損損失を計上した一方で、営業利益及び経常利益の上方修正により、前回予想を上回る見込みです。

#### (個別業績予想)

売上高、営業利益、経常利益につきましては、連結業績予想と同様の理由により修正いたします。当期純利益につきましては、神島組の株式の実質価額が著しく低下したため、関係会社株式評価損を計上したことにより、前回予想を下回る見込みです。

## 2. 2026年3月期 期末配当予想の修正

### (1) 配当予想

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2025年10月24日発表)		87円00銭	174円00銭
今回修正予想		96円00銭	183円00銭
当期実績	87円00銭		
前期実績 (2025年3月期)	44円50銭	54円50銭	99円00銭

### (2) 修正の理由

当社は、更なる企業価値の向上に向けて積極的な成長投資と安定的な株主還元を行うという考えのもと、2025年3月期より総還元性向50%以上かつD O E 4.0%以上とすることを基本方針としております。

この方針のもと、2026年3月期の期末配当予想を1株当たり87円から9円増配の96円に修正することといたしました。なお、当期の年間配当金は、1株当たり183円、配当性向は50.06%となる見込みです。

## 3. 特別損失（減損損失）の計上見込みについて

当社の連結子会社である神島組に係る技術関連資産等の固定資産について、営業網の拡大や施工体制の強化といった、同社の業績平準化に向けた施策による効果発現の遅れ等に伴い、今後の事業計画を慎重に見直した結果、連結決算において減損損失約14億円を計上する見込みとなりました。

また、これにより神島組の株式の実質価額が著しく低下したため、当社個別決算において、関係会社株式評価損約28億円を計上する見込みとなりました。なお、当該関係会社株式評価損は連結決算上消去されるため、連結業績への影響はございません。

(注) 本資料に記載されている特別損失額については、現在、会計監査人による監査手続が完了していないため、当社の見込みを記載しており、実際の損失額は予想数値と異なる場合があります。また、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想と異なる可能性があります。